



山形大学
Yamagata University



山形大学 インターンシップガイドンス

小白川キャンパス キャリアサポートセンター

本日のスケジュール

本日のガイダンスの流れ

1. インターンシップQ&A
2. インターンシップ参加者の声
3. インターンシップ参加のポイント



本日のガイダンスの目標（ゴール）

1. インターンシップに参加する意義が理解できる。
2. 参加に必要な手続きが理解できる。



良く学生から受けるインターンシップの相談

- ①そもそもインターンシップとは何か？
- ②なぜ参加した方が良いのか？
- ③アルバイトとの違いは？
- ④どのようなプログラムがあるのか？
- ⑤インターンシップの探し方は？



① インターンシップとは？



そもそもインターンシップとは？（定義）

「学生が在学中に自らの専攻・将来のキャリアに関連した就業体験を行うこと」

→就職直結ではなく、進路を考える機会として捉える視点が必要。

インターンシップを通じて、今後大学で専攻分野をどのように学んでいくかを問い直し、また就職に対する意識を一段と高め、実社会で必要とされる職業意識を高めること

→もちろん専攻以外のインターンシップ参加も問題はない。
また、興味のある業界以外へのインターンシップ参加も有効。
体験を通して、自分の視野を広げるきっかけにもなる。

② インターンシップ参加のメリット



なぜインターンシップに参加した方が良いのか？

- ① 入社後のミスマッチを防ぐ上で有効な手段になる。
- ② 大学で何を学ぶかを考えるきっかけになる。
- ③ 働くことをリアルに考えられる（試職の視点）。
- ④ 就職活動の準備になる（プレ就職活動）。

【全国データ】 インターンシップ参加学生の参加理由

※いずれも上位3位
までの複数回答

- ① 特定の企業をよく知るため
- ② やりたいことを見つけるため
- ③ 志望企業や業界で働く経験をするため

山大生の調査では、①社会勉強のため、②就職活動に有利だから、③やりたいことを見つけるため が上位3位であった。

② インターンシップ参加のメリット

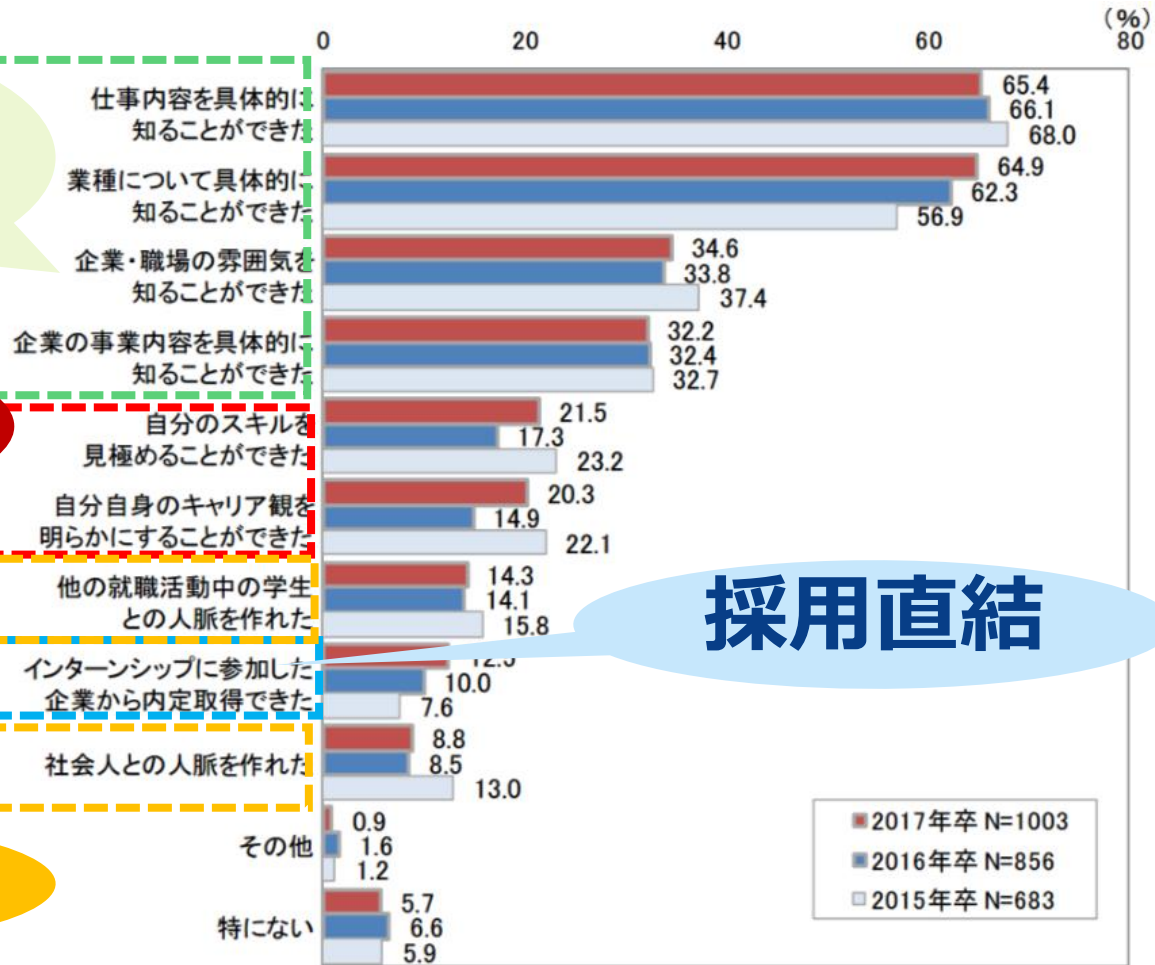


インターンシップに参加してよかったと思う点（複数回答）

仕事・企業
理解

自己理解

人脈形成



採用直結

② インターンシップ参加のメリット



インターンシップ不参加者の理由

- ① 実施時期や時間が、自分の予定と合わなかった
- ② インターンシップの内容に魅力を感じなかった
- ③ 採用選考上有利になると思わなかった

- 当然参加しない学生も一定数おり、またインターンシップの参加はmustとは言えない（参加しなくても就職はできる）。
- しかし、本学のアンケート調査から、**参加者と不参加者を比較するとキャリア意識等に差がある**ことが明らかになっている。
- 最近では、**参加者を対象とした早期選考を行う企業もある**

③アルバイトとの違いとは？



アルバイト

バイト代
社会勉強

労働力

時給・交通費

インターンシップ



職業体験
企業・業界理解

仕事・業界・企業
理解のため

基本的に出ない

学生の
目的

企業の
目的

報酬

→それぞれ「目的」が違う。インターンシップは、**“報酬”よりも“体験”**
→ただし、アルバイトでも同じように体験できるケースもある

④ インターンシッププログラム



区 分		特 徴	学生の教育効果	企業のメリット
体験中心 数日～数週間 が多い	仕事理解型	1～2週間程度の職場・業務体験が中心。最後にレポートやプレゼンによる報告を実施することが多い	自己の適性・志向 の理解 働くこと・業界 の理解	企業・業界広報
	採用直結型	実際に一緒に働いてみてお互いを見極める採用活動の一環。外資系企業や大手ベンチャー企業などで実施。		採用マッチング
実践中心 数週間～数か月 が多い	業務補助型	普通のアルバイトでは経験できないような企業の業務に取り組む。期間は1か月以上の長期が多い。	社会人基礎力	若者を活用した 業務の推進
	課題協働型	会社と大学を行ったり来たりして課題発見や企画立案に取り組む。グループワーク形式が多い。	社会人基礎力 + 学びの実践	若者の発想の活用・ 社内活性化など
	事業参画型	企業の新規事業や変革プロジェクトの一員をして業務に取り組む。期間は1か月から長いものだと半年間の長期が多い。	社会人基礎力 + リーダーシップ	若者を活用した 新規事業などの推進

その他のプログラム例

- ①会社見学・工場見学・職場見学、②ロールプレイング形式の仕事体験、③人事や社員の講演、④若手社員との交流会



インターンシップの期間と内容

インターンシップの申込形態

- ① 学校を經由して申し込む形態（5日間以上）※主に単位認定型
- ② 就職ナビ等を經由して、または、直接申し込む形態（5日間以上）
- ③ 就職ナビ等を經由して、または、直接申し込む形態（1～3日間）

※大学經由は、基本5日間以上。就職ナビ等は1 DAY仕事体験が多い。

本学インターンシップ参加者の参加形態と参加プログラムの内容（複数回答）

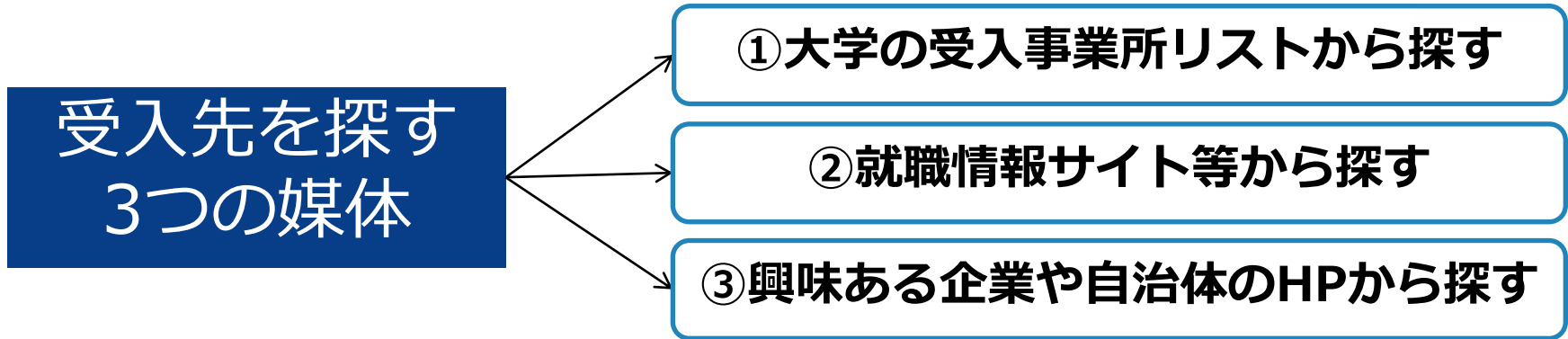
インターンシップの参加状況	数	パーセント
大学經由（5日間未満）	13	14.0%
大学經由（5日間以上14日未満）	50	53.8%
大学經由（14日以上長期）	0	0.0%
1dayインターンシップ	16	17.2%
就職ナビ、企業に直接申し込む（5日間未満）	11	11.8%
就職ナビ等、企業に直接申し込む（5日間以上）	3	3.2%
就職ナビ等、企業に直接申し込む（14日以上長期）	0	0.0%
合計	93	100.0%

インターンシップのプログラム内容	数	パーセント
社員に同席あるいは同行	22	23.7%
社員の基幹的な業務の一部	16	17.2%
社員の補助的な業務の一部	23	24.7%
通常業務でなく別の課題やプロジェクト	20	21.5%
職場や工場の見学	8	8.6%
アルバイトやパートタイマーが行う業務の一部	4	4.3%
合計	93	100.0%

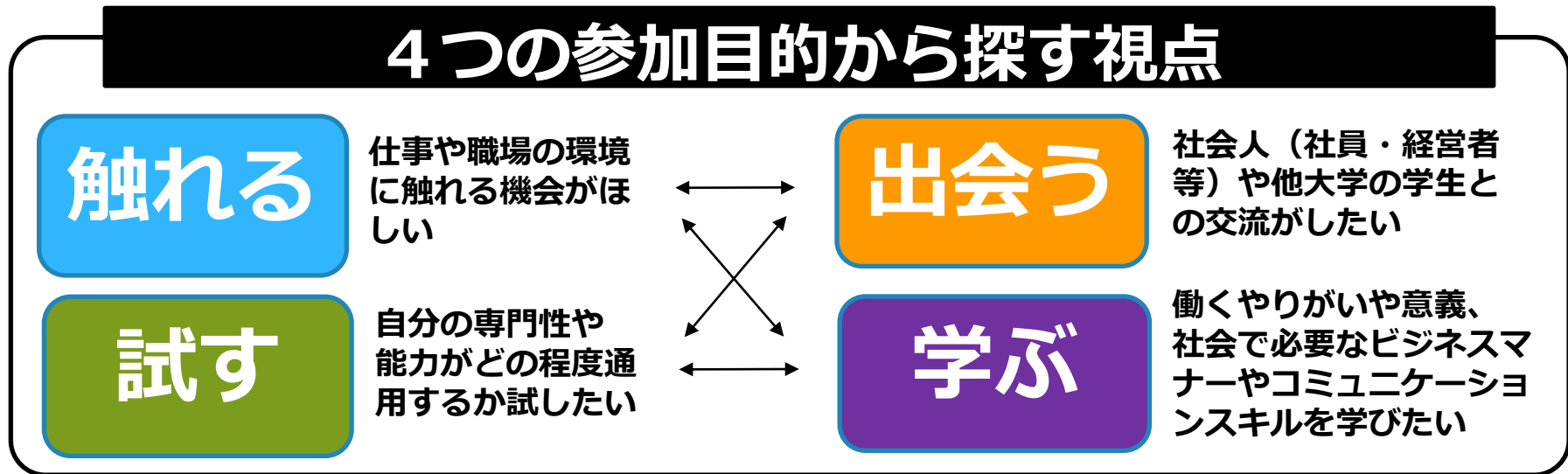
→回答者のなかには、**学校經由と就職ナビ等經由の両方に参加している**学生もいた。

出所) リクルートキャリア (2017) 「就職白書2017 -インターンシップ編-」
山形大学 (2018) 「インターンシップ参加学生に対するアンケート調査」より

④ インターンシップの探し方



選ぶ際の基準として、「業種」「プログラム内容」「職種」を重視した学生が多いが、以下の視点を含めて考えることで、参加目的がより明確になり、選択の幅も広がる。



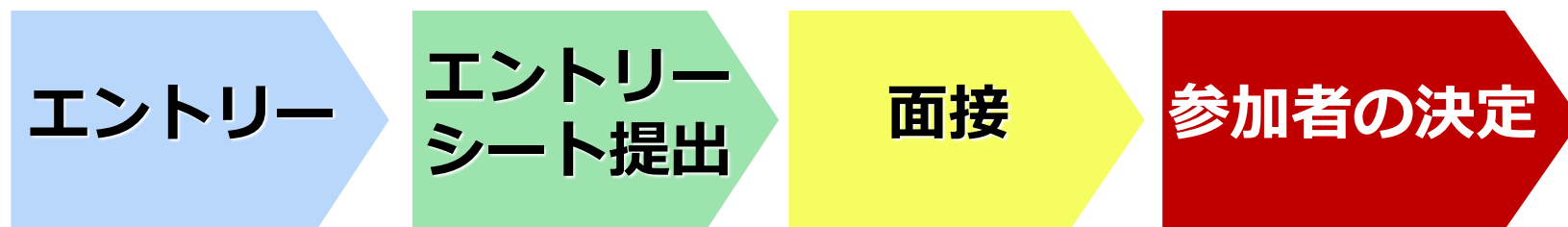
(補足) インターンシップの選考



① 大学応募型：希望数が多い場合は、抽選がある。

② 自己開拓型：希望者が多い場合は、選考がある。

→自己開拓型（就職情報サイトからの応募等）の一般的な選考フロー



※受入先によって締め切りや選考形式が異なるため、事前のチェックが必要

この流れを体験することで就職活動のプロセスを事前に体験できる

インターンシップ選考のポイントは「積極性」や「やる気」

→目的意識（インターンシップになぜ参加したいか？）が明確である必要がある。

→仮にインターンシップの選考が通らなかった場合も、就職活動に影響しない。

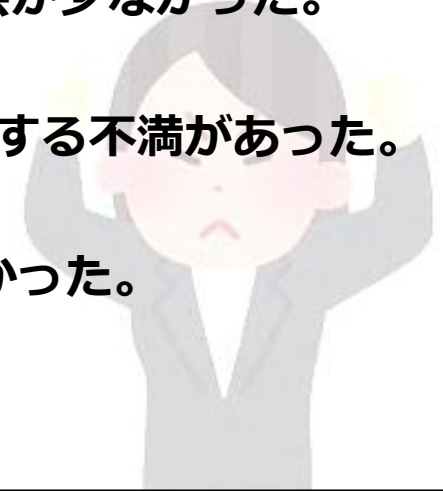
2. インターンシップ参加者の声

- ・ 社会人としてのマナー（ビジネスマナー）を学べた。
- ・ 飛び込まなければ絶対に見ることのできなかつた世界を体感できた。
- ・ 夏休みの時間を無駄にせずに済んだから。
- ・ アルバイトとの違いを感じる機会になった。
- ・ 自分の足りない部分があった。
- ・ 将来について真剣に考えるきっかけになり、**将来の選択肢が増えた。**
- ・ 参加前よりも、働くということのイメージが具体的になった。
- ・ 社会人と触れ合える機会があまりないのでとてもいい経験になった。
- ・ 就職活動への意欲が上がった。
- ・ B to Bの良さやその会社の事業内容について理解が深まった。
- ・ 希望していた職業が自分に合っていなかったことが分かった。
- ・ 他大学の学生と触れ合う機会ができた（私立学生は頑張っていた）。

2. インターンシップ参加者の声

参加者が感じた不満 (インターンシップ参加者の否定的意見)

- ① **自分の問題** 良くなかったのは自分に理由があった。
- ② **体験内容** 体験した内容自体が良くなかった。
- ③ **社員や学生との交流** 交流機会が少なかった。
- ④ **受入先の対応** 受入先企業等の対応に関する不満があった。
- ⑤ **期間が短い** もっと期間があった方がよかった。
- ⑥ **内容が薄い** 日数に比べ内容が薄かった。



3. インターンシップ参加のポイント

1) 参加目的を明確にする

→参加することで何を得たいか？を考える。

2) 自覚をもって参加する

→いち「社会人」としての意識をもって行動する。

3) 受動的でなく能動的に参加する

→積極的に行動し、情報収集する姿勢が重要。

4) 終わったら体験を振り返る

→行きっぱなしにせず、体験からの学びを整理して、今後の進路選択につなげる。

→意識し参加することで「働くこと」を真剣に考える機会になる。

本日のスケジュール

本日のガイダンスの流れ

1. インターンシップQ&A
2. インターンシップ参加者の声
3. インターンシップ参加のポイント



本日のガイダンスの目標（ゴール）

1. インターンシップに参加する意義が理解できる。
2. 参加に必要な手続きが理解できる。

